

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年2月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年2月1日～2月29日）

○調査期間：令和6年3月1日～令和6年3月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業15企業、製造業16企業、卸売業13企業、小売業22企業

飲食業12企業、サービス業33企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計111企業>

○調査項目：2月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅が縮小した

1. 業況判断

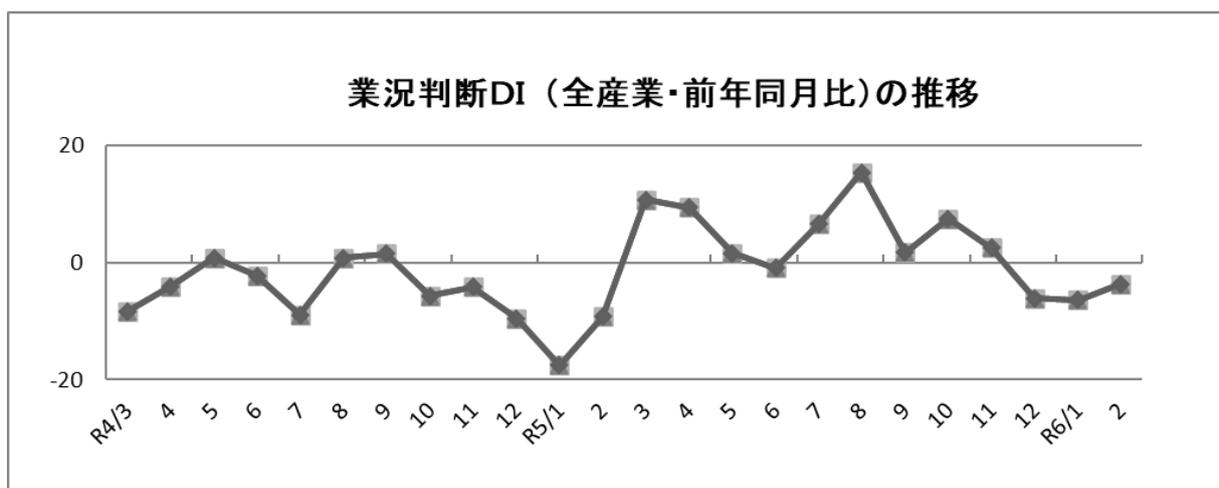
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲6.4)より2.8ポイント上昇し、▲3.6となった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小し、小売業は0からプラスになった。製造業はマイナスから0になり、サービス業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナスのまま横ばいで、建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲16.4)より1.1ポイント上昇し、▲15.3になった。業種別では、小売業が0からプラスになり、建設業は0からマイナスとなった。卸売業・製造業・サービス業はマイナス幅が縮小した。飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	17.1 (14.5)	62.2 (64.6)	20.7 (20.9)	▲ 3.6 (▲ 6.4) ↗	15.3 (12.7)	54.1 (58.2)	30.6 (29.1)	▲ 15.3 (▲ 16.4) ↗
建設業	6.7 (0.0)	73.3 (88.2)	20.0 (11.8)	▲ 13.3 (▲ 11.8) ↘	0.0 (11.8)	80.0 (76.4)	20.0 (11.8)	▲ 20.0 (0.0) ↘
製造業	12.5 (11.8)	75.0 (64.7)	12.5 (23.5)	0.0 (▲ 11.7) ↗	12.5 (11.8)	50.0 (47.0)	37.5 (41.2)	▲ 25.0 (▲ 29.4) ↗
卸売業	15.4 (15.4)	53.8 (53.8)	30.8 (30.8)	▲ 15.4 (▲ 15.4) →	15.4 (7.7)	61.5 (61.5)	23.1 (30.8)	▲ 7.7 (▲ 23.1) ↗
小売業	27.3 (22.2)	54.5 (55.6)	18.2 (22.2)	9.1 (0.0) ↗	31.8 (27.8)	40.9 (44.4)	27.3 (27.8)	4.5 (0.0) ↗
飲食業	41.7 (38.5)	25.0 (38.4)	33.3 (23.1)	8.4 (15.4) ↘	16.7 (15.4)	33.3 (46.1)	50.0 (38.5)	▲ 33.3 (▲ 23.1) ↘
サービス業	9.1 (9.4)	72.7 (71.8)	18.2 (18.8)	▲ 9.1 (▲ 9.4) ↗	12.1 (6.3)	57.6 (65.6)	30.3 (28.1)	▲ 18.2 (▲ 21.8) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

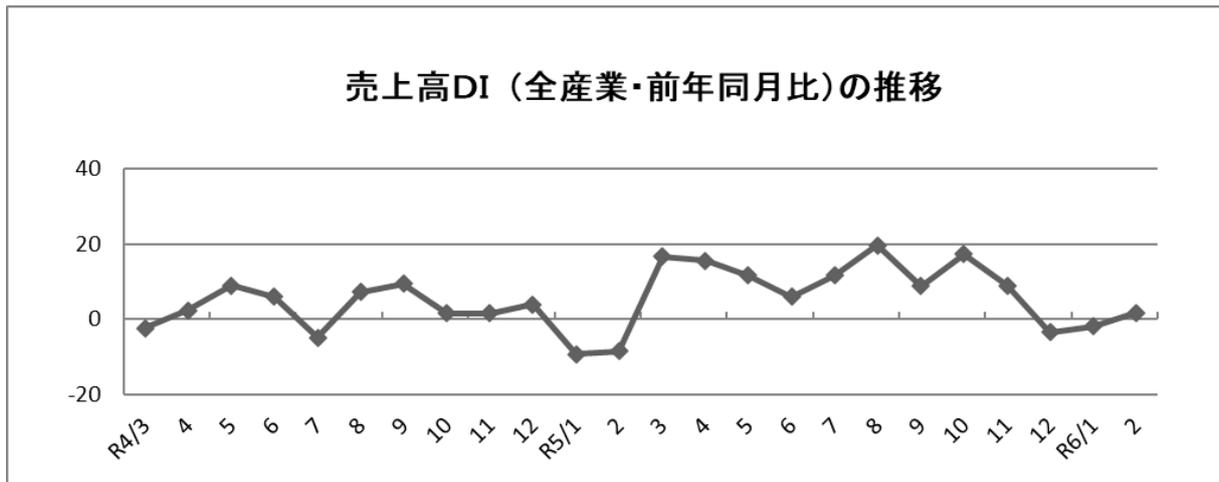


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲1.8）より3.6ポイント上昇して、1.8となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が縮小し、飲食業がプラスから0になった。小売業は0からプラスになり、サービス業はマイナスからプラスに転じた。卸売業はマイナスから0になり、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
全体	▲ 8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲ 3.5	▲ 1.8	1.8
建設業	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3
製造業	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2
卸売業	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0
小売業	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1
飲食業	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0
サービス業	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0

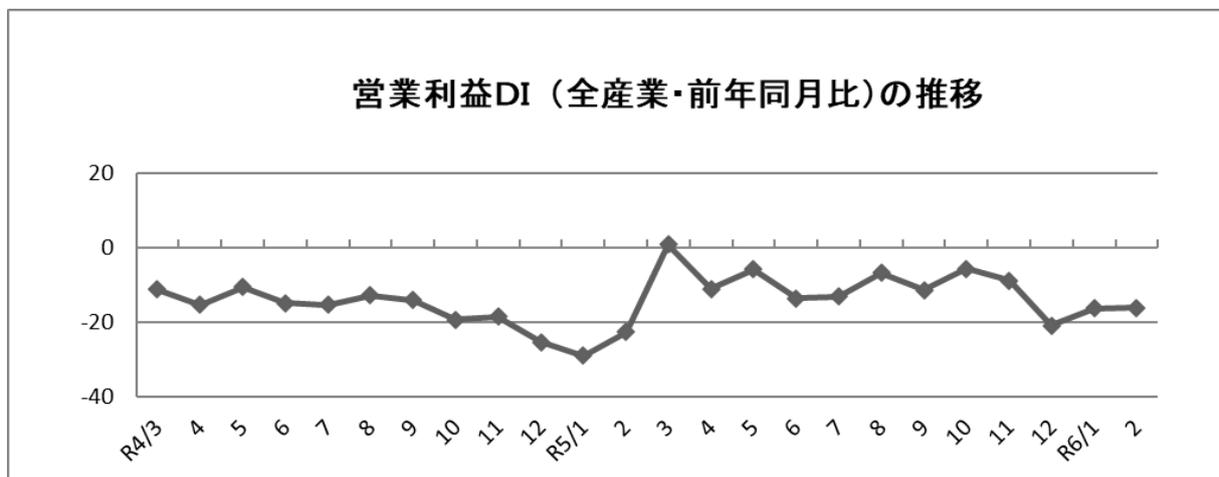


3. 営業利益DI（前年同月比）

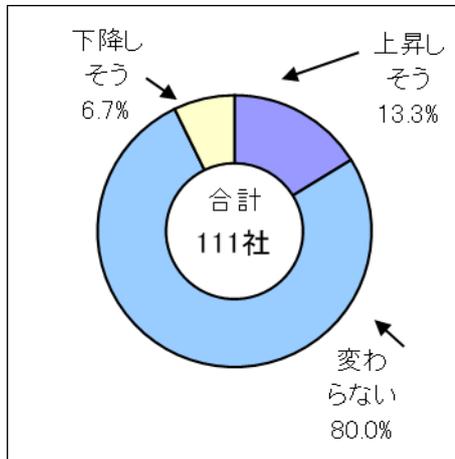
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲16.4）より0.2ポイント上昇して、▲16.2となった。建設業・小売業・サービス業はマイナス幅が縮小し、卸売業は横ばいであった。飲食業・製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
全体	▲ 22.7	0.8	▲ 11.2	▲ 5.9	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 11.4	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 20.9	▲ 16.4	▲ 16.2
建設業	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3
製造業	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0
卸売業	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1
小売業	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2
飲食業	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7
サービス業	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1

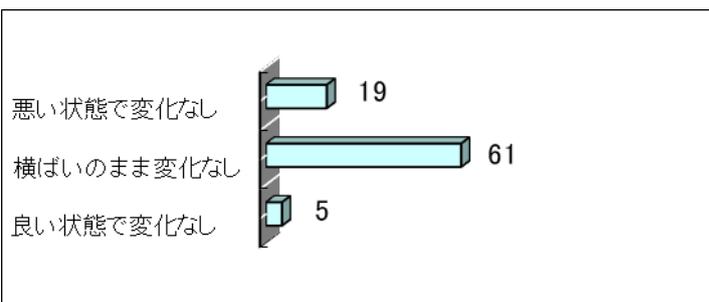


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和6年3月～令和6年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ6.9ポイント増え13.3%、「下降しそう」が0.6ポイント減り6.7%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲13.3)、製造業(6.3)、卸売業(0.0)、小売業(18.2)、飲食業(33.3)、サービス業(9.1)であった。

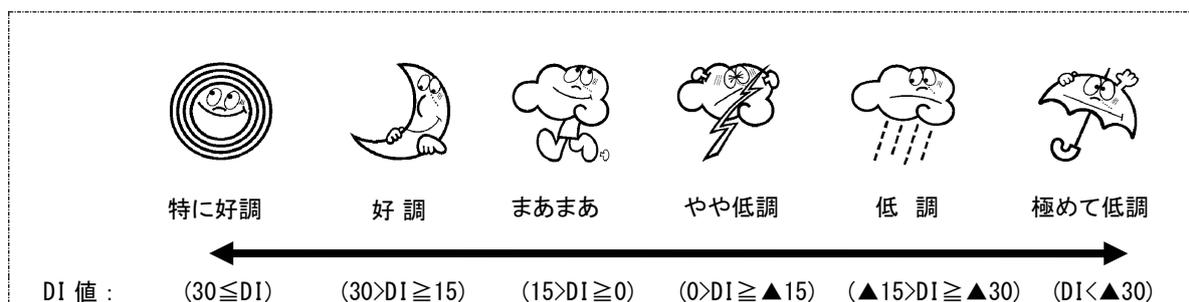
➡「上昇しそう」では「航空宇宙、防衛関連の伸長のため」「3月・4月に受注量が見込めるため」「季節的要因のため」(製造業)「観光、卒業、入学、歓送迎会等のイベントが多いため」「各種戦略実施のため」(卸売業)「暖かくなると春休みや桜の花見など観光客や外出で人の動きが良くなるため」「海外の観光客と共に国内客が伸びそうのため」(小売業)「4月に向け人の移動があるため」「来店機会の増加のため」「暖かくなるため」「歓送迎会や花見などイベントが盛りだくさんなため」(飲食業)「段々暖かくなり人が動いてきたため」「各感染症の流行が落ち着いてきたため」「インバウンドが増えるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



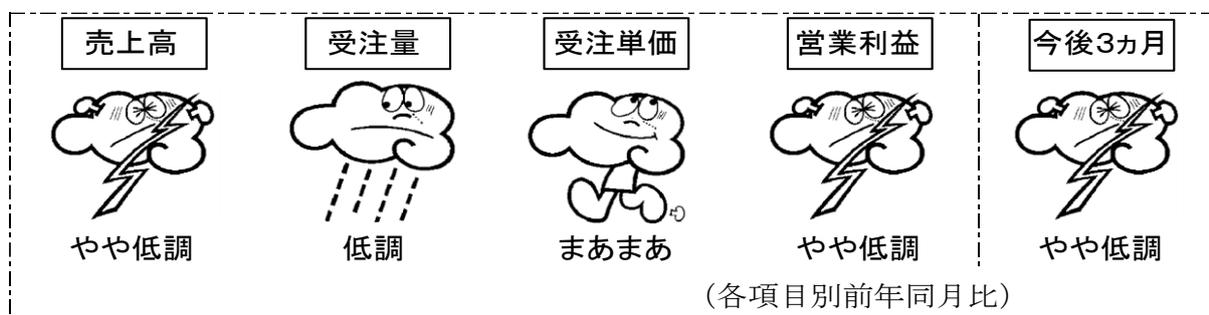
➡「下降しそう」では「新年度の事業の発注がないため」(建設業)「プラスになる材料が乏しいため」「個人消費の回復がみられないため」(卸売業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



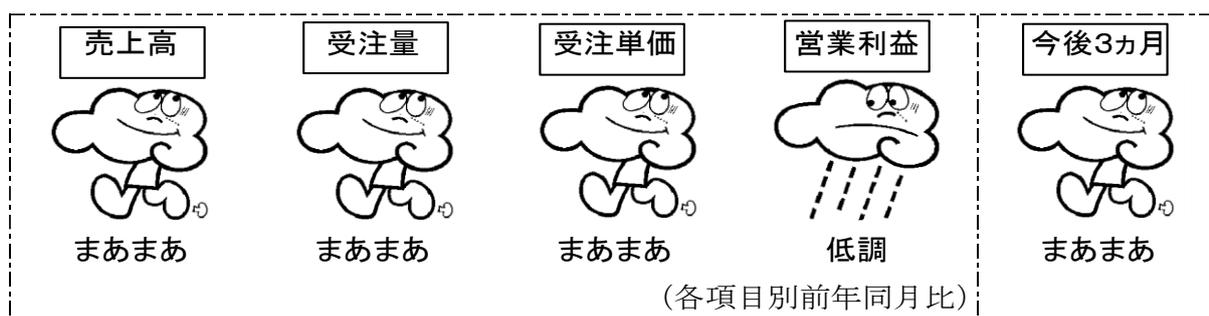
【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3
受注量	▲27.8	▲21.0	▲23.5	▲21.1	▲15.0	▲35.3	▲16.7	▲11.7	▲5.8	▲5.0	▲5.2	▲11.7	▲26.6
受注単価	▲16.7	▲5.2	0.0	▲10.5	0.0	▲5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0
営業利益	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3
見通し	▲5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲10.5	▲5.9	▲13.3

<経営者の目・見方・etc>

- 建築工事: 4月から資材の値上げの話が出ている。
- 電気工事: 今若手の技術者がとても少ない。人材確保ということが今後においての課題ではないか。
- 鉄工: 材料の値上がり等を危惧している。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2
受注量	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受注単価	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5
営業利益	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0
見通し	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3

＜経営者の目・見方・e t c＞

印刷

・平日、休日、祭日、昼夜関係なく修正ややり直しなどの連絡が入り、対応に追われる営業や制作は切迫感や疲弊感に苛まれている。こうしたVUCAの時代においては、情報技術は進歩しても、どこにミスが潜んでいるのかすら分かりにくくなってきている。

精密機器組立

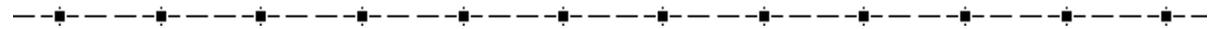
・材料費(半田)の大幅なコストアップの情報があり、今後の対応を検討している。

小型情報機器組立

・元々の受注減のため、月の対応をしている。

金属塗装

・前年比では上昇しているが、同単位で見るとあまり良くない。銘板の受注が少なく、採算ラインまで届かず不採算である。



3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3カ月
				
まあまあ	やや低調	まあまあ	低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0
販売客数	▲ 7.7	11.1	▲ 25.0	▲ 10.0	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7
販売客単価	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0
営業利益	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1
見通し	▲ 7.7	0.0	12.5	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0

＜経営者の目・見方・e t c＞

青果卸小売業
土産品

・天候の変動が激しく、大雪などがありお客様の動きが悪かった。
・例年だと売上の厳しい2月だが、小売り、卸売りと非常に好調である。キャラクター商品やお客様オリジナルデザイン等が売れている。

業務用食品
製菓材料卸売

・価格改定や値上げが多く粗利率が減少している。
・比較的静かであったが、3月中旬から4月に期待をしたい。

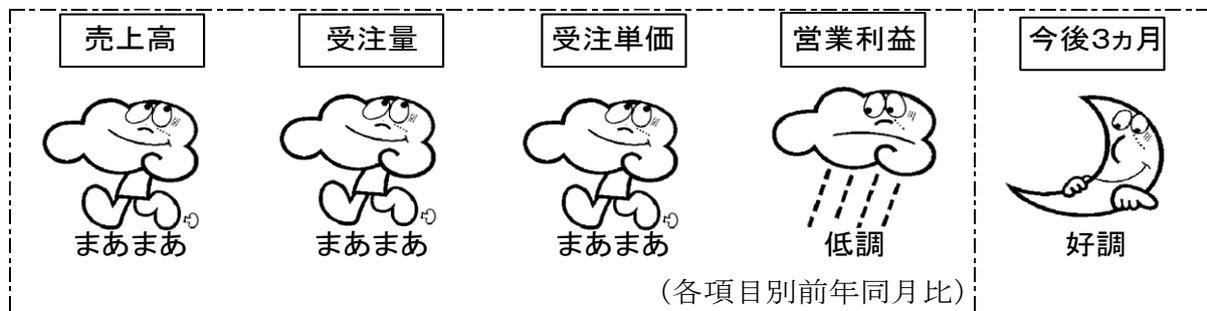
金属製品

・物流が減っている中、高炉メーカーをはじめとした各メーカーが経費のコストアップを理由に、新年度からの値上げを発表したことで、今後価格転嫁が大きな課題となる。

材料・建材

・パルコ、イトーヨーカドー南松本店の撤退など地域経済にとって大きな影響があると思われ、その後の動向が非常に気になる。建築材料を仕入れているが、メーカーからの値上げ通知が現在も続いており、今後更に個人住宅需要の冷え込みが懸念される。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1
販売客数	0.0	4.4	▲9.5	17.4	▲9.1	4.1	20.0	▲20.0	9.6	▲5.6	0.0	5.5	9.1
販売客単価	13.6	0.0	▲19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲10.0	▲14.3	▲5.6	0.0	▲5.6	9.1
営業利益	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2
見通し	0.0	17.4	▲4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲19.0	▲5.6	▲21.1	0.0	18.2

<経営者の目・見方・etc>

印章

・松本城プロジェクトマッピングへの来城がとても多かった。来年以降も続けてほしい。

洋菓子店

・売上は横ばいである。バレンタインもあったが前年と同じ売上であった。原材料の値上がりが続いて困っている。
・義理チョコ文化がなくなりつつあるためか、バレンタインの商品購入数は減ってきている。全体としては値上げを行っている分売上は良いが、原材料も大きく値上がりしているため利益はあまり良くない。

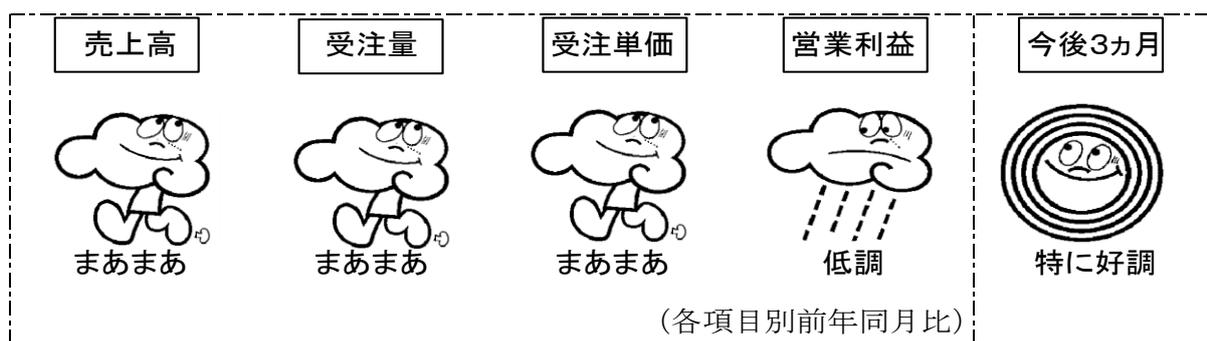
印章・刃物研ぎ

・寒さが厳しかったにもかかわらず、まちゼミに多くの皆様に参加されたこと、次回に希望が持てる。ほんこと印鑑は違うこと、全員が知らないのは驚きであった。

生鮮食品

・2月は雪が降り早めに閉めたりしたが、終わってみれば今年の2月より良かった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0
販売客数	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4
販売客単価	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0
営業利益	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7
見通し	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3

<経営者の目・見方・etc>

寿司

・うるう年で例年より1日多かった2月は、降雪により休業をした日もあったが、日並びも良く、月のトータルで見れば堅調な月であった。

・2月初めの大雪で流通が完全にストップしてしまい、東京豊洲市場からの魚貝類が大幅に遅れてしまった。予約のキャンセルが相次ぎ店も早々に閉店した。自然の力はどうにもならないと感じた。

郷土料理

・寒さや天候のせい、平日の人出が少ない。宴会や会合も少ない。休日はいくらか客数は増えるが売上は伸びなかった。

料理

・雪や寒さ等、悪条件のため家にこもっているのか人が出てこない。

食堂

・2月の寒さで人出は少なく、宴会も少人数だけで、コロナ禍前の時と違い大人数での宴会はまったくなしである。

中華料理

・宴会の予算がコロナ禍前より上がっている。少し高くても美味しい物を食べたいとの要望も多い。松本城のプロジェクトンマッピングが延長になり、週末は多くの人出があり賑やかであった。

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
売上高	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0
販売客数	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1
販売客単価	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0
営業利益	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1
見通し	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア

・県外からの委託案件については安定しているように感じる。そうしたものの多くはクラウドをベースにしたプログラミング案件である。対して地元中小企業の案件もシステムの刷新が大半を占めるが、実際のところデータをExcelで加工しているなど、属人化が見られるものがほとんどである。企業の内実を含めたブラッシュアップに手が届く人材が不足している。

旅館

・昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に変更して以降ほぼ順調に回復基調であったが、1月以降伸びが鈍化しつつある。震災と事故が尾を引いているのだろうか。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かくなると観光客が動き予約が入る。来月中旬にもなれば本格的な観光シーズンとなり忙しくなる。今年は外国人観光客も増えて更に忙しくなりそうである。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・来客数、売上高ともに前年を上回った。人件費などの上昇につき、料金改善が必要となってきた。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業 タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・観光都市としてインバウンドを含め多くの観光客の方を呼び込むためにも、夜間のイベント、夜間の商店街の賑わいが必要ではないか。 ・タクシーの総台数が減っているため、お客様の要望になかなか応じられないが続いている。

